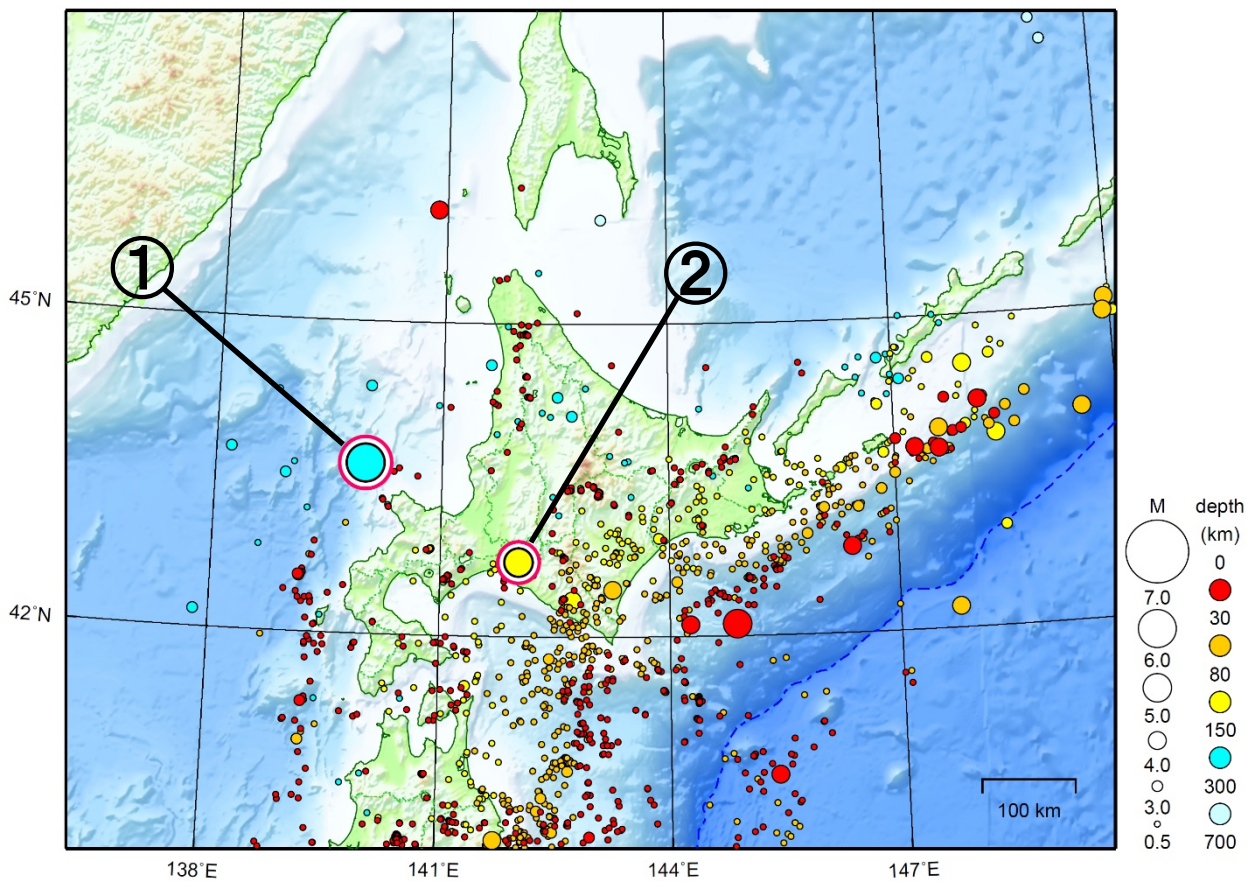


北海道地方

2021/01/01 00:00 ~ 2021/01/31 24:00



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 1月12日に北海道西方沖で M6.0 の地震（最大震度2）が発生した。
- ② 1月27日に胆振地方中東部で M5.4 の地震（最大震度4）が発生した。

〔上述の地震は M6.0 以上または最大震度4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。〕

気象庁・文部科学省

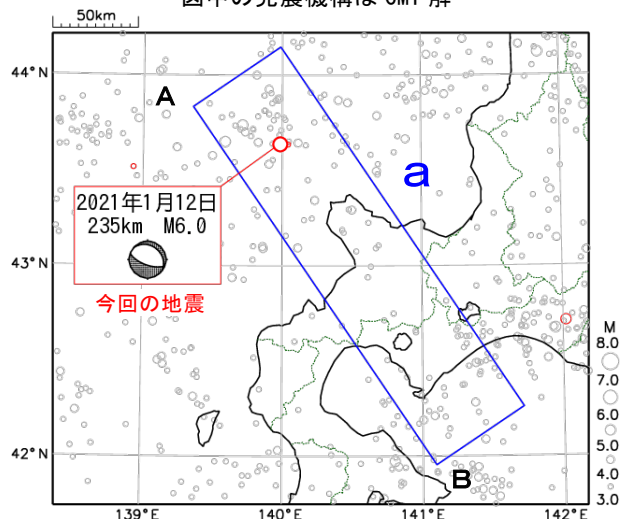
1月12日 北海道西方沖の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2021年1月31日、
深さ100～300km、 $M \geq 3.0$)

2021年1月の地震を赤く表示

図中の発震機構はCMT解

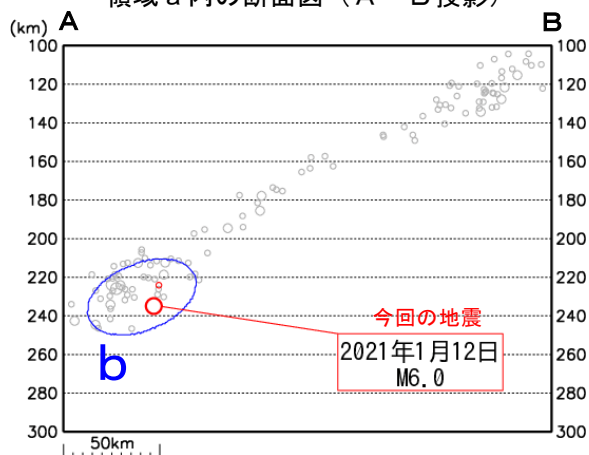


2021年1月12日11時39分に北海道西方沖の深さ235kmで $M 6.0$ の地震 (最大震度2) が発生した。この地震の発震機構 (CMT解) は北北東-南南西方向に張力軸を持つ型で、太平洋プレート内部で発生した。

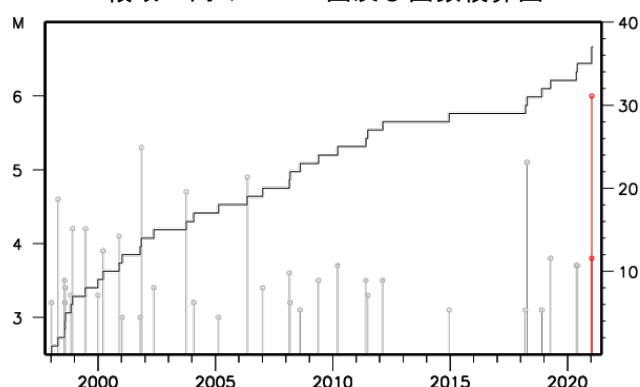
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、 $M 6.0$ 以上の地震が発生したのは初めてである。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、 $M 6.0$ 以上の地震が時々発生している。1940年8月2日の北海道西方沖の地震 ($M 7.5$ 、最大震度4) では、岩内港で83cm (平常潮位からの最大の高さ) の津波を観測するなど、日本海沿岸各地で津波を観測した。この津波により、天塩川河口付近で死者があり、全体で死者10人、流失家屋20棟、船舶流失644隻などの被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。

領域a内の断面図 (A-B投影)



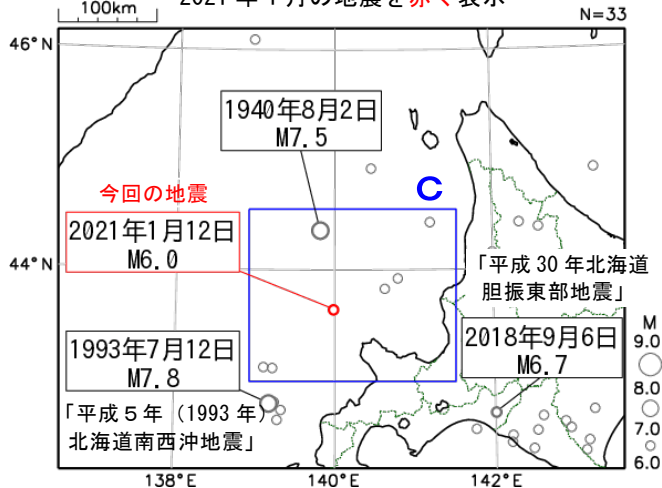
領域b内のM-T図及び回数積算図



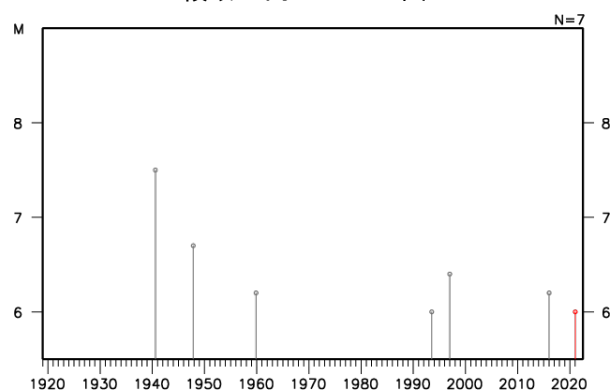
震央分布図

(1919年1月1日～2021年1月31日、
深さ0～300km、 $M \geq 6.0$)

2021年1月の地震を赤く表示

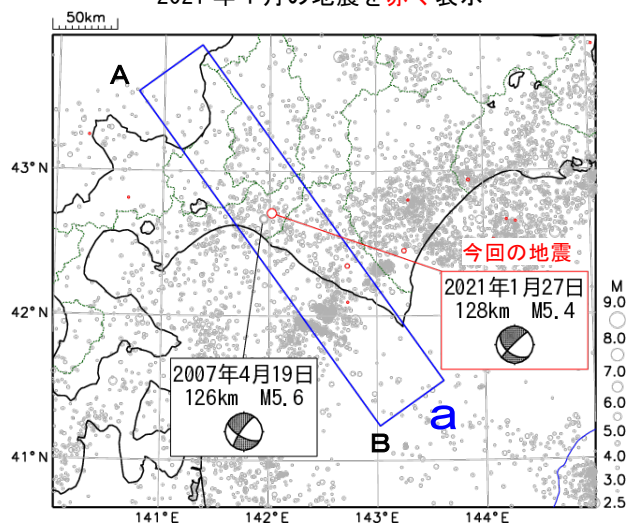


領域c内のM-T図



1月27日 胆振地方中東部の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2021年1月31日、
深さ50～200km、 $M \geq 2.5$)
2021年1月の地震を赤く表示

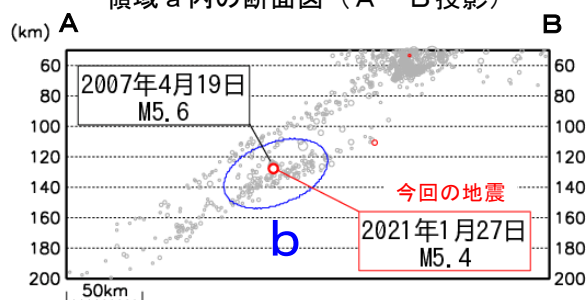


2021年1月27日14時06分に胆振地方中東部の深さ128kmで $M 5.4$ の地震（最大震度4）が発生した。この地震の発震機構は太平洋プレートの沈み込む方向に張力軸を持つ型で、太平洋プレート内部（二重地震面の下面）で発生した。

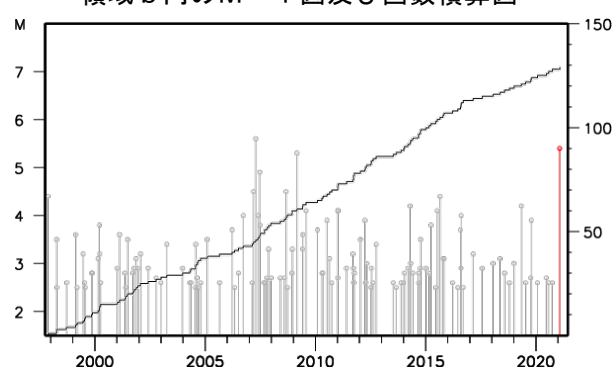
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、 $M 5.0$ 以上の地震は今回を含めて3回発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、 $M 6.0$ 以上の地震が時々発生している。2018年9月6日の「平成30年北海道胆振東部地震」（ $M 6.7$ 、最大震度7）により、北海道では死者43人、負傷者782人、住家全半壊2,129棟などの被害が生じた（総務省消防庁による）。

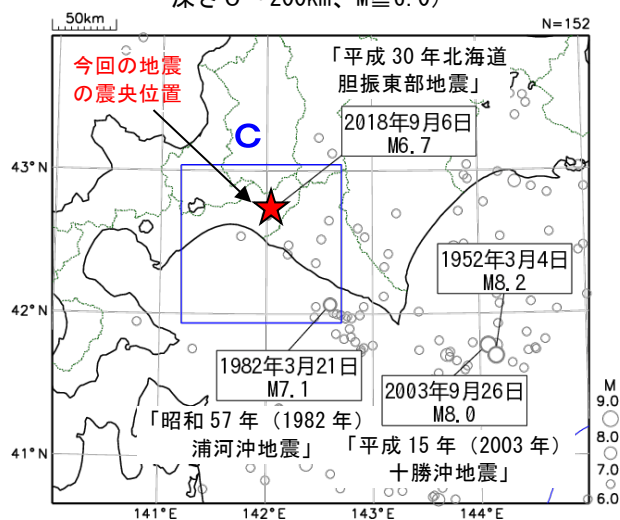
領域a内の断面図（A-B投影）



領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図
(1919年1月1日～2021年1月31日、
深さ0～200km、 $M \geq 6.0$)



領域c内のM-T図

